

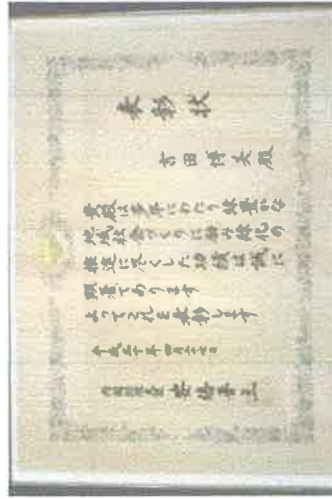
緑化推進功労者表彰

この緑化推進功労者表彰は、緑化活動の推進や緑化思想の普及啓発について顕著な功績のあった個人又は団体を内閣総理大臣が表彰するもので、昭和58年から行われているそうです。福岡県からは、これまでに11団体が受賞されていますが、個人では今回が初めてです。

今年、平成30年4月27日に、東京永田町の「憲政記念館」において開催された第12回「みどりの式典」(内閣府主催)の中で、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰が行われました。

この式典は、安倍内閣総理大臣を始めとする三権の長、関係する農林水産、文部科学、国土交通、環境の各大臣、さらには天皇后両陛下の御臨席のもと執り行われました。

また、式典終了後開催されたレセプションでは、安倍総理大臣、斎藤農林水産大臣、さらには天皇后両陛下とも個別に直接お話しする機会を与えて頂きました。



吉田 博美 ひろみ

住 所 福岡県宗像市

功績の概要

同氏は、平成18年から市民団体「むなかた水と緑の会」に所属し、花と緑の豊かな地域づくりのため、市民花壇3か所の運営管理を中心となって行い、地域緑化に貢献している。

また、「一年中楽しめる開かれた庭づくり」に本格的に取り組み、市民が花や緑の美しさ、大切さを享受する場として、自宅周囲1,200㎡を開放、平成20年にはオープンガーデンを開始し、現在、多数の市民が来場している。

平成23年には、絶滅危惧種に指定されている宗像市の花「カノコユリ」が宗像固有種と確認されたのを契機として、「むなかた水と緑の会」が宗像固有種の保存・増殖を行うこととなった。それに伴い、平成24年から同氏が中心となり市民を対象に種まき講習会・球根植え替え講座やカノコユリ鑑賞会等を開催し、「カノコユリ」の保存・増殖のための市民応援団づくりを始めた。

さらに、カノコユリの保存・拡大のために専門の「宗像カノコユリ研究会」を主催し、100名を超える人材が育ち、地域の花づくり・緑化推進の拡大に貢献している。